

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1221	一般事務	会計	05	住宅新築資金等貸付特別会計	
39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める。	款	01	総務費	
		項	01	総務管理費	
		目	01	一般管理費	
		細目	101	一般管理費	
		細々目	01	一般管理費	
担当部課名	伊賀支所 人権同和課				
作成者氏名	増森 和吉	連絡先	0595-45-9108		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	旧伊賀町における住宅新築資金等貸付者	貸付者に対し、貸付償還金の奨励を行い、行政が果たすべき公平性の確保を図る。
本年度事業内容	1. 住宅新築資金等貸付金の償還事務を行う。 2. 償還に係る相談事務を行う。	
根拠法令・要綱等		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1	1	1
人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,056	1,483	1,483
委託料	300	738	738
借上料	363	363	363
その他	393	382	382
合計(A+B)	8,256	8,683	8,683
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	795	732	732
地方債			
受益者負担			
その他特財	266	751	751
一般財源	7,195	7,200	7,200
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
住宅新築資金等貸付金償還件数	件	127	117	101			
督促・催告件数	件	190	195	200			
償還相談数	件	70	75	75			

情勢の変化及び事業の改善点等

住宅新築資金等の借受者の生活状況は景気低迷等による個人所得の減少により、分納による償還要望の借受者が増えてきた。全体としては、借受人及び連帯保証人の高齢化等による事情も含めて、滞納が増加傾向である。このような状況から償還率の向上を図っていくのは誠に厳しい状況である。しかし、滞納となった原因の分析と合わせて、引き続き、督促、催告等の手続き、訪問を継続して回収をおこなって行きたい。

評価	達成度	3	現在の償還事務を継続し、督促、催告の徹底と訪問を継続し償還率の向上に努める。
	効率性	3	